

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	6	学校名	羽島北高等学校
------	---	-----	---------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	多彩な教育活動に取り組む地域に根差した高校として 地域との交流や生徒の能力、適性に合わせた細かな教育活動を通して 思いやりの心と自らの将来を主体的に切り拓く力をもった人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	①すべての教育活動を通して、活気に満ち、明るく特色ある学校づくりに努めるとともに、校訓「誠実・叡智・進取」の目指す生徒の育成に励む。 ②自主自発の精神を高揚し、あらゆる場を通して豊かな創造力と逞しい実践力を兼ね備えた生徒を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力と的確な判断力を身に付けるとともに、自ら進んで学ぶ態度を身に付け、自分の意見をしっかりと持ち他者と協働して課題解決に取り組む生徒 ・心豊かで思いやりがあり、多様な人々の互いの人格を尊重する人権感覚に富む生徒 ・地域社会の一員として積極的に考え行動し、常に進取の気概に富む21世紀を担う国際性を備えた生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題発見力・課題解決力を育成するための「課題自体の背景の研究やその調査、探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」・「キャリア教育」の推進 ・多様な授業形態や活動を「探究的な学び」・「各教科学習」・「高大連携」・「地域連携」に取り入れるとともに、ICTの活用による生徒のコミュニケーション能力伸長と発信力の育成 ・生徒一人ひとりの個性や長所に応じて、その能力や特性を十分に伸長するとともに、「私が決める、私の未来」と題された生徒本人が自身の進路目標に沿って構築する本校独自の年次を超えた単位制カリキュラムの実施 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身に付け、お互いや他者の多様性を尊重し、協働しながら主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・自ら進路志望の明確化を図り、多様な学びに主体的に取り組み、自己の可能性に挑戦し充実した学校生活を送る意欲のある生徒 ・生徒会活動や部活動などの校内の活動や地域貢献活動などの校外の自主的な活動やボランティア活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒一人ひとりのニーズに合った教育課程の編成と教科指導 ◇本校特有の教育課程に伴う業務への多忙感 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	教職員の授業改善により、生徒の学習への興味・関心を高め、確かな学力の定着と課題解決能力の育成を図り、進路目標達成に向けて努力する姿勢を養成する。	
	進路指導	早期から広い視野で将来を考えさせ、3年間を見通した系統的な指導を行う。確かな学力の育成と明確な進路目標の形成を通して、生徒が主体的に進路実現できる力を養う。	
	生徒指導	豊かな人間性と自主自律の心を養い、学業に目的意識をもって意欲的に取り組む生徒を育てるために、全職員の十分な連携のもとに、信頼と愛情を基盤とした生徒指導に努める。	
	特別活動	生徒会行事・部活動・各種の地域貢献活動への積極的参加を促し、生徒の自主的な活動を援助し、より充実した学校生活となるように努める。	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	勤務時間制度を有効活用し、教職員の業務都合に合わせた柔軟な働き方を推進するとともに、早く家庭に帰る日(8のつく日)や年間10日以上ノー残業デーを計画実施する。		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	・授業改善を継続して推進し、わかりやすい授業の実践により、生徒の学力向上を図る。	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取り組み内容とその後の変容 ・生徒及び保護者を対象としたアンケートの結果 				
	・スタディサプリ等の積極的な活用や家庭学習の充実を図る働きかけにより、生徒の学力向上を図る。	施策Ⅳ-23					
	・総合探究、LHRの内容のさらなる精選を図り、生徒の生きる力や学力向上の取り組みを支援する。	施策Ⅰ-4					
	・指導力向上のため、教職員間の授業研究、教材研究の推進や、学びあい等の意識を高める。	施策Ⅳ-26					
進路指導	・早期から進路選択の視野を広げ、高みへ挑戦する動機付けにつながる支援を、全教育活動を通じて推進する。	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取り組み内容とその後の変容 ・生徒及び保護者を対象としたアンケートの結果 ・進路実現につながる外部リソースの活用状況 				
	・外部模擬試験の事前・事後指導を徹底し、学習意欲と学力の向上を図り、進路目標の実現を目指す。	施策Ⅱ-13					
	・最新の入試情報の共有や、面接・小論文・志望理由書対策等の指導力強化の継続を図る。	施策Ⅱ-8					
	・卒業生や外部講師による講話や進路説明会等を適切な時期に行い、生徒の学習意欲や進路意識を高める。	施策Ⅰ-7					
生徒指導	・全教育活動を通じて、全教員が生徒理解に努め、生徒一人一人が自己実現できるように支援する。	施策Ⅰ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び保護者を対象としたアンケートの結果 ・不登校・問題行動件数(昨年度との比較) ・交通事故発生件数、ヘルメット着用率(昨年度との比較) 				
	・外部講師による講話等により、生徒の規範意識を高め、問題行動等の減少を図る。	施策Ⅲ-19					
	・アンケート等を活用することで生徒、保護者の要望を把握し、規範意識向上のための指導に努める。	施策Ⅰ-3					
	・MSリーダーズ、生徒会による交通安全運動等を実施し、交通安全等のマナー向上、交通事故防止を図る。	施策Ⅲ-19					
特別活動	・部活動や校外ボランティア活動などへの生徒の積極的な関わりを増やし、地域に愛される高校として情報収集や広報活動を大切にしていこう。	施策Ⅳ-25	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び保護者を対象としたアンケートの結果 ・ボランティア活動に対する参加状況 				
	・北翔祭(文化祭)や球技大会等の学校行事において生徒が主体的かつ組織的に活動する場面を増やし、学校生活への充実感を育成する。	施策Ⅳ-24					
	・生徒会や委員会、議会などの活発化を図り、活動内容を全生徒へ発信することを通じて、生徒が主体的に関わるようにする。	施策Ⅰ-1					

来年度に向けての改善方策等 実施日：令和9年 月 日 学校関係者評価 実施日：令和9年 月 日

--	--